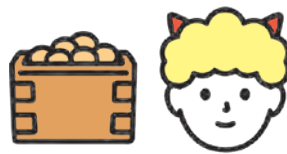


豆市

旧東海道沿いにある旧山内邸で「節分イベント」を開催します。冬のおいしいものが大集合。もちつき大会もあります。

🕒 2月11日(水祝) 10:00~15:00 所 旧山内邸(草津三)
問 • 草津まちづくり株式会社(草津三) ☎564-5888、FAX564-5885
• 都市地域戦略課(4階) ☎561-6931、FAX561-2486



歴史ギャラリー

名所図会に描かれた「うばがもちや」
一店主のこだわりと茶の湯サロンー

No.219

東海道に面した店先では、多くの旅人が一服している様子や客に商品を差し出している様子、さらに店の奥では餅を作るための臼や商品の準備をする様子が描かれています。



▲「伊勢参宮名所図会」(草津市蔵)

江戸時代の旅人は、道中でのような楽しみがあったのでしょうか。大きな楽しみの一つに名物がありました。

現在も草津の名物として親しまれているうばがもちですが、元々は草津宿の隣、東海道から矢橋道が分岐する「矢倉立場」の傍に店を構えていました。「当時の店のにぎわいは、江戸時代のガイドブック「伊勢参宮名所図会」や「近江名所図会」また、歌川広重の「東海道五拾三次之内 草津」などに描かれています。今回はこのうち「伊勢参宮名所図会」に描かれた「うばがもちや」をご紹介します。

た式台を備えた格式高い建物で描かれています。この場でどのような交流が行われていたのか、この絵では分かりませんが、立場の特徴的な風景として描かれたうばがもちやは、膳所藩主などと茶道具を見せ合うほどの風流人であり、当主のこだわりで作られた姥ヶ餅焼で、大名などをもてなす文化サロンの場所となっていたようです。

この文化サロンの謎に迫る展示を、2月14日(土)から草津宿街道交流館の令和8年春季テーマ展「草津宿ー茶の湯サロンをめぐる謎ー」として開催します。ぜひ謎解きにお越しください。

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津
(FM78.5MHz)
「声の広報」



スマートフォン用アプリ
● マチイロ
● SideBooks(ちいき本棚)

市公式ソーシャルメディア



草津市メール
配信サービス

市の情報をメールで
配信するサービス



くさつチャンネル

動画や、
びわ湖放送
(BBC)の
草津スケ
ッチも！



市の花
アオバナ



市の木
キンモクセイ

12月31日現在(対前月比)

● 人口141,304人(+20) ● 世帯数65,743世帯(+34)
● 男70,725人(-2) ● 女70,579人(+22)



昨年7月から
開庁時間を
変更しました

変更後

9:00~16:45

ご理解とご協力をお願いします。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

